

令和6年2月18日（日）施行

第213回 全経簿記能力検定試験 2級 商業簿記 解答

第1問

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	未払給料	150,000	給料	150,000
2	買掛金	300,000	電子記録債権	300,000
3	建物	5,800,000	建設仮勘定 未払金	3,800,000 2,000,000
4	備修引当金 修繕費	300,000 150,000 50,000	当座預金	500,000
5	支店	520,000	損益	520,000
6	損益	945,000	繰越利益剰余金	945,000
7	未払法人税等	150,000	納税準備預金	150,000

第2問

期首売掛金	期首資本金	期末繰越利益剰余金	当期純損失
¥ 557,000	¥ 390,000	¥ 78,000	¥ 69,000

第3問

商 品 有 高 帳

A 商 品

令 6 年	和 年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
			数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
1	1	前月繰越	600	1,240	744,000				600	1,240	744,000
	2	宮 崎	1,000	1,320	1,320,000				1,600	1,290	2,064,000
	3	宮 崎				100	1,320	132,000	1,500	1,288	1,932,000
	10	大 分				1,000	1,288	1,288,000	500	1,288	644,000
	16	萩	1,000	1,120	1,120,000				1,500	1,176	1,764,000
	21	佐 賀				1,000	1,176	1,176,000	500	1,176	588,000
	22	佐 賀	60	1,176	70,560				560	1,176	658,560
	31	次月繰越				560	1,176	658,560			
			2,660		3,254,560	2,660		3,254,560			

注 摘要欄には、取引先（ただし、「〇〇株式会社」の株式会社は省略し、「〇〇」のみでよい）を記入すること。

純 売 上 高	売 上 原 価	売上総利益（粗利益）
¥ 4,944,000	¥ 2,393,440	¥ 2,550,560

第4問

仕 訳 集 計 表

令和6年1月25日

借 方	元丁	勘 定 科 目	元丁	貸 方
305,000		現 金		258,000
		現 金 過 不 足		18,000
345,000		売 掛 金		287,000
204,000		買 掛 金		222,000
		売 上		345,000
222,000		仕 入		11,000
65,000		消 耗 品 費		
1,141,000				1,141,000

総 勘 定 元 帳

買 掛 金 21

1/25	204,000	※	869,000
		1/25	222,000

仕入先（買掛金）元帳

上 総 商 店 1

1/25	11,000	※	654,000
		1/25	222,000

仕 入 60

※	5,920,000	1/25	11,000
1/25	222,000		

※1月24日までの残高である。

第5問

精 算 表

勘 定 科 目	残 高 試 算 表		整 理 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	233,000		18,000	3,000			248,000	
当 座 預 金	765,000						765,000	
売 掛 金	1,000,000						1,000,000	
貸 倒 引 当 金		18,000		12,000				30,000
売買目的有価証券	400,000			20,000			380,000	
繰 越 商 品	695,000		675,000	695,000			675,000	
仮 払 金	50,000			50,000				
仮払法人税等	35,000			35,000				
備 品	850,000						850,000	
備品減価償却累計額		340,000		170,000				510,000
買 掛 金		700,000						700,000
借 入 金		505,000						505,000
資 本 金		1,300,000						1,300,000
資 本 準 備 金		150,000						150,000
利 益 準 備 金		100,000						100,000
繰越利益剰余金		120,000						120,000
売 上		5,184,000				5,184,000		
受 取 手 数 料		253,000	39,000			214,000		
仕 入	2,195,000		695,000	675,000	2,215,000			
給 料	1,225,000				1,225,000			
支 払 家 賃	745,000		35,000		780,000			
保 険 料	81,000			11,000	70,000			
水道光熱費	298,000			9,000	289,000			
消 耗 品 費	98,000			12,000	86,000			
	8,670,000	8,670,000						
貸倒引当金繰入			12,000		12,000			
減 価 償 却 費			170,000		170,000			
有価証券運用損益			20,000		20,000			
旅 費			53,000		53,000			
雑 (益)				9,000		9,000		
消 耗 品			12,000				12,000	
(未 払)家 賃				35,000				35,000
(前 払)保 険 料			11,000				11,000	
(前 受)手 数 料				39,000				39,000
法 人 税 等			120,000		120,000			
(未 払)法人税等				85,000				85,000
当期純(利 益)					367,000			367,000
			1,860,000	1,860,000	5,407,000	5,407,000	3,941,000	3,941,000

令和6年2月18日（日）施行

第213回 全経簿記能力検定試験 2級 商業簿記 解説

第1問

1. 前期末に見越し計上した給料の仕訳

(借)	給	料	150,000	(貸)	未払給料	150,000
-----	---	---	---------	-----	------	---------

再振替仕訳とは、前期末に行った仕訳の逆仕訳を行って適正な損益計算を行うこと

(借)	未払給料	150,000	(貸)	給	料	150,000
-----	------	---------	-----	---	---	---------

2. 買掛金の支払いに当たって、電子記録債権の譲渡記録を行った場合には、電子記録債権勘定を減少させる処理をする。
3. 建物が完成し、引き渡しを受けた場合には、建物勘定を用いて増加の処理をする。
代金のうち、すでに支払ってある金銭については、建設仮勘定を用いて処理されているため、建設仮勘定の減少の処理をするとともに、差額については、月末に支払うこととなっているため未払金勘定を用いて処理をする。
4. 備品の修繕と改良を行った場合には、改良の支出は固定資産の増加として、備品勘定の増加の処理をする。修繕の支出は修繕引当金が設定されているため、先に修繕引当金を充当し、残額を費用として修繕費勘定を用いて処理をする。
5. 支店の決算の結果、当期純利益を計上した場合、本店では、売上勘定の損益勘定への振替えと同様に損益勘定の貸方に記入する。
当期純損失を計上した場合には、損益勘定の借方に記入する。
6. 当期決算において、当期純利益を計上した場合には、損益勘定の借方から繰越利益剰余金勘定の貸方へ振替えの処理をする。
7. 前期法人税等確定額の未払分は、未払法人税等勘定で処理されている。よって、納付した場合は未払法人税等勘定の減少の処理をする。また、納税準備預金から納付しているため、納税準備預金勘定の減少の処理をする。

第2問

- ①売上勘定から損益勘定への振替え

貸方合計¥3,674,000－借方合計¥114,000＝¥3,560,000

- ②仕入勘定の借方「繰越商品」は期首商品棚卸高を表している。

期首貸借対照表の商品（繰越商品）より¥221,000

- ③仕入勘定の貸方「繰越商品」は期末商品棚卸高を表している。

期末貸借対照表の商品（繰越商品）より¥210,000

- ④仕入勘定から損益勘定への振替え

借方合計¥4,004,000－貸方合計¥446,000＝¥3,558,000

- ⑤損益勘定から繰越利益剰余金勘定への振替え

借方合計¥4,149,000－貸方合計¥4,080,000＝¥69,000（当期純損失を表している。）

⑥繰越利益剰余金勘定

貸方の前期繰越は期首貸借対照表の繰越利益剰余金を表している。 ¥147,000

⑦繰越利益剰余金の借方の次期繰越（期末貸借対照表の繰越利益剰余金）

貸方合計 ¥147,000 - ¥69,000 = ¥78,000

⑧期末貸借対照表の資本金

借方合計 ¥1,515,000 - 貸方合計 ¥973,000 = ¥542,000（資本金勘定の次期繰越を表している）

⑨資本金勘定の前期繰越（期首貸借対照表の資本金）

借方合計 ¥542,000 - 貸方合計 ¥152,000 = ¥390,000

⑩期首貸借対照表の売掛金

貸方合計 ¥1,466,000 - 借方合計 ¥909,000 = ¥557,000

第3問

1月1日 前月繰越 ¥744,000（=600個×@¥1,240）

1月2日 1,000個×@¥1,320=¥1,320,000

(借)	仕	入	1,320,000	(貸)	買	掛	金	1,320,000
-----	---	---	-----------	-----	---	---	---	-----------

1月3日 100個×@¥1,320=¥132,000

(借)	買	掛	金	132,000	(貸)	仕	入	132,000
-----	---	---	---	---------	-----	---	---	---------

1月10日 1,000個×@¥2,500=¥2,500,000

(借)	売	掛	金	2,500,000	(貸)	売	上	2,500,000
-----	---	---	---	-----------	-----	---	---	-----------

1月16日 1,000個×@¥1,120=¥1,120,000

(借)	仕	入	1,120,000	(貸)	当	座	預	金	1,120,000
-----	---	---	-----------	-----	---	---	---	---	-----------

1月21日 1,000個×@¥2,600=¥2,600,000

(借)	売	掛	金	2,600,000	(貸)	売	上	2,600,000
-----	---	---	---	-----------	-----	---	---	-----------

1月22日 60個×@¥2,600=¥156,000

(借)	売	上	156,000	(貸)	売	掛	金	156,000
-----	---	---	---------	-----	---	---	---	---------

純売上高（10日・21日・22日）

¥2,500,000 + ¥2,600,000 - ¥156,000 = ¥4,944,000

売上原価 商品有高帳より（10日・21日・22日）

¥1,288,000 + ¥1,176,000 - ¥70,560 = ¥2,393,440

売上総利益（粗利益）

純売上高 ¥4,944,000 - 売上原価 ¥2,393,440 = ¥2,550,560

第4問

入金伝票

(借)	現	金	287,000	(貸)	売	掛	金（下総）	287,000
-----	---	---	---------	-----	---	---	-------	---------

入金伝票

(借)	現	金	18,000	(貸)	現	金	過	不	足	18,000
-----	---	---	--------	-----	---	---	---	---	---	--------

出金伝票

(借)	消	耗	品	費	65,000	(貸)	現	金	65,000
-----	---	---	---	---	--------	-----	---	---	--------

出金伝票

(借)	買	掛	金（常陸）	193,000	(貸)	現	金	193,000
-----	---	---	-------	---------	-----	---	---	---------

振替伝票

(借)	売	掛	金（下総）	345,000	(貸)	売	上	345,000
-----	---	---	-------	---------	-----	---	---	---------

振替伝票

(借)	仕	入	222,000	(貸)	買掛金 (上総)	222,000
-----	---	---	---------	-----	----------	---------

振替伝票

(借)	買掛金 (上総)	11,000	(貸)	仕	入	11,000
-----	----------	--------	-----	---	---	--------

現金借方 $\yen287,000 + \yen18,000 = \yen305,000$

現金貸方 $\yen65,000 + \yen193,000 = \yen258,000$

現金過不足貸方 $\yen18,000$

売掛金借方 $\yen345,000$

売掛金貸方 $\yen287,000$

買掛金借方 $\yen193,000 + 11,000 = \yen204,000$

買掛金貸方 $\yen222,000$

売上貸方 $\yen345,000$

仕入借方 $\yen222,000$

仕入貸方 $\yen11,000$

消耗品費借方 $\yen65,000$

※ 総勘定元帳への転記は、合計転記を行う。

※ 仕入先 (買掛金) 元帳への転記は、個別転記を行う。

第5問

付記事項

仮払金の処理

(借)	旅	費	53,000	(貸)	仮	払	金	50,000
					現	金		3,000

決算整理事項

1. 現金の処理

帳簿残高 $\yen233,000 - \yen3,000$ (付記事項) $= \yen230,000$

実際有高 $\yen248,000$

差 額 $\yen248,000 - \yen230,000 = \yen18,000$ (実際有高に合わせるため、現金を増加させる)

不一致の原因は、水道光熱費の誤記入であるため $\yen9,000$ ($\yen32,000 - \yen23,000 = \yen9,000$) を減少させる。

残額は、原因が判明しなかったため、雑益勘定または、雑損勘定を用いて処理をする。

(借)	現	金	18,000	(貸)	水	道	光	熱	費	9,000
					雑	益				9,000

2. 売上原価の算定

(借)	仕	入	695,000	(貸)	繰	越	商	品	695,000
	繰	越	商	品	仕	入			675,000

3. 貸倒引当金の見積もり

売掛金の期末残高 $\yen1,000,000$

貸倒引当金の見積もりの金額

$\yen1,000,000 \times 3\% = \yen30,000$

貸倒引当金繰入額

$\yen30,000 - \yen18,000 = \yen12,000$

(借)	貸倒引当金繰入	12,000	(貸)	貸倒引当金	12,000
-----	---------	--------	-----	-------	--------

4. 備品の減価償却費の計上

¥850,000 ÷ 5年 = ¥170,000

(借) 減 価 償 却 費	170,000	(貸) 備品減価償却累計額	170,000
---------------	---------	---------------	---------

5. 売買目的有価証券の評価替え

帳簿価額 ¥400,000

評 価 額 ¥380,000

差 額 ¥400,000 - ¥380,000 = ¥20,000 (有価証券運用損となる)

(借) 有価証券運用損益	20,000	(貸) 売買目的有価証券	20,000
--------------	--------	--------------	--------

6. 消耗品の未使用高

(借) 消 耗 品	12,000	(貸) 消 耗 品 費	12,000
-----------	--------	-------------	--------

7. 家賃の未払高 (費用の見越し)

(借) 支 払 家 賃	35,000	(貸) 未 払 家 賃	35,000
-------------	--------	-------------	--------

8. 保険料の前払高 (費用の繰り延べ)

(借) 前 払 保 険 料	11,000	(貸) 保 険 料	11,000
---------------	--------	-----------	--------

9. 手数料の前受高 (収益の繰り延べ)

(借) 受 取 手 数 料	39,000	(貸) 前 受 手 数 料	39,000
---------------	--------	---------------	--------

10. 未払法人税等

当期の課税所得 ¥400,000 × 30% = ¥120,000

(借) 法 人 税 等	120,000	(貸) 仮払法人税等	35,000
		未払法人税等	85,000